

車載組込みシステムフォーラム 2026

主催：車載組込みシステムフォーラム（ASIF）
共催：名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所
後援：一般社団法人組込みシステム技術協会 中部支部
組込みシステム産業振興機構
NPO法人TOPPERSプロジェクト
公益社団法人自動車技術会

車載組込みシステムフォーラム（ASIF：Automotive Embedded System Industry Forum）は、東海地区の車載組込みソフトウェア産業を発展させることを目的として、2008年4月1日に設立されました。勉強会、スキルアップセミナー、応用技術セミナーなど、人材や企業の育成のための活動を実施しています。今般、広く組込みシステムに関連する方々を対象として、車載組込みシステム技術に関する最新動向などの情報共有と、関係企業等の交流を目的としたフォーラムを開催します。

日時

2026年1月20日（火）
10:00～16:40

開催方法

会場開催（事前申込制・先着順）
オンライン配信はありません 定員240名

ナディアパーク デザインセンタービル3階
デザインホール

名古屋市中区栄三丁目18番1号

- 交通案内・名古屋市地下鉄名城線「矢場町」駅 5・6番出口 徒歩5分
・名古屋市地下鉄東山線「栄」駅 7・8番出口 徒歩7分
- URL：<https://www.nipc.or.jp/designhall/access/index.html>



参加費

ASIF会員・
名古屋大学 未来社会創造機構
モビリティ社会研究所 所属の方
無料

後援団体会員
2,500円（消費税込）

非会員
5,000円（消費税込）

※参加費は銀行振込（振込期限1/13、振込手数料はご負担ください）

申込方法

下記の申込フォームからお申し込みください。

<https://www.secure-cloud.jp/sf/1636007691fWkOQZVN>



申込期限：2026年1月13日（火）

申込後、登録いただいたメールアドレスへ自動返信で受付票が送付されますので、ご確認ください。

交流会

17:00～19:00

お気軽にご参加ください
定員：50名 先着順

会場：TO THE HERBS 名古屋ラシック店
（名古屋市中区栄3-6 ラシック7F）

参加費：会員・非会員共に5,000円（消費税込）銀行振込（振込期限1/13、振込手数料はご負担ください）

フォーラム、交流会の参加費振込先

※振込先口座：三菱UFJ銀行柳橋支店 普通預金口座4805255
公益財団法人中部科学技術センター（ASIF）
ヨミ：ヨウキョウ タンホウジチウア カクケジ ヲセンター（アスィフ）

車載組込みシステムフォーラム（ASIF）

<https://www.as-if.jp>



プログラム

ASIF活動紹介

10:00-10:40 「車載組込みシステム開発の現状とASIFの活動」

車載組込みシステムフォーラム会長
名古屋大学未来社会創造機構
モビリティ社会研究所 教授

高田 広章

概要：車載組込みシステム業界における開発の現状に関する話題提供とASIFの活動状況紹介

基調講演

10:45-11:45

「L4MaaSの実用化に向けて
ーRoAD to the L4プロジェクトの取り組みを中心にー」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
インテリジェントシステム研究部門 招聘研究員
RoAD to the L4プロジェクトコーディネータ

横山 利夫 氏

概要：RoAD to the L4プロジェクトは、2021年からの5年プロジェクトであり、今年度が最終年度である。5年間のプロジェクトの推移や、各事業の成果および今後解決すべき課題等について説明する。また、L4プロジェクトで調査した欧米のロボタクやL4バスの最新の取り組み状況についても紹介を行う。

専門セミナー 1

13:15-14:15

「深層強化学習・模倣学習によるヒューマノイド開発の最前線」

TechShare株式会社 代表取締役

重光 貴明 氏

概要：深層強化学習・模倣学習など最新のAI技術による、ヒューマノイドロボットの最新開発動向などを概説させていただきます。

専門セミナー 2

14:20-15:20

「インドのソフトウェア産業と日本での活用の可能性について」

日本タタ・コンサルタンシー・サービス株式会社
マネジングコンサルタント

石上 和宏 氏

概要：これまで20年間のインドのソフトウェア企業との共同作業を通じて得られたインド人やインド企業との連携のための知見を紹介する。

1. インドの紹介
2. インドのソフトウェア産業とその輸出先
3. インドのソフトウェア企業の日本での活用
 - (1) 顧客側での課題
 - (2) インド側の課題

専門セミナー 3

15:40-16:40

「SDV時代に重要なアプリケーションライフサイクルマネージメント」

株式会社アルゴグラフィックス チーフ・テクニカル・アーキテクト

益 啓純 氏

概要：自動車業界が100年に一度の大変革期を迎えていると呼ばれている中で、CASEのキーワードとともに、SDVが大きな影響を与えている。このSDVを今一度システム目線で俯瞰した際のソフトウェアの位置づけを再認識する。その上で、現状の開発課題、これからおこるであろう開発課題に対するアプリケーションライフサイクルマネージメント（ALM）の役割の重要性を再認識する。

ASIF

検索

問い合わせ先：車載組込みシステムフォーラム（ASIF）事務局
公益財団法人中部科学技術センター イノベーション創出支援室

TEL：052-231-6723 FAX：052-204-1469 E-mail：monodukuri@cstc.or.jp